

「打瀬の想いを歌声に」 打瀬中音魂祭終わる

打瀬中の年間最大行事のひとつ音魂祭が今年も10月27日に千葉県文化会館で行われた。3年生にとって卒業式を除けばこの行事が打瀬中での最後のイベントになる。クラス対抗の行事なので毎年各クラスは最優秀賞をめざして練習を重ね熱く燃える。今年最優秀賞はどのクラスが獲得したのか。今年から収容人数の関係で保護者以外の一般からの参加は難しくなった音魂祭を取材した。【松村】

会場の文化会館前に開会式の直前に到着すると、「音魂祭」と大きく書かれた看板の前で年配のご夫婦がきちんとした身なりで写真を撮っていた。今年から会場の都合で学年ごとに入れ替えとなった音魂祭。開会式後すぐに始まるのは1年生の演奏だ。今年から中学に進んだお孫さんの晴れ舞台を見に来たのだろうか。音魂祭が地域の関心を集めることがよくわかる光景だった。

音魂祭は各学年ごとに最優秀のクラスを決めるクラス対抗の合唱コンクールだ。クラスごとに選んだ自由曲を、クラス内で選んだ指揮者、ピアノ伴奏者で練習し、演奏して順位を決める。打瀬中は今、各学年9クラス。学年ごとに休憩を挟みながら演奏し、3学年で合計27クラスが歌い終わったあと、審査をして会場内で結果を発表する。

音魂祭ではなんと言っても3年生の演奏が注目を集める。男子の声変わりの時期とも重なり、1、2年生ではなかなか低い声がない。気の毒だが音魂祭では3年生が主役だ。その分3年生は熱く燃え、クラスの団結心を見せる。これが音魂祭の伝統なのだろう。

今年昨年2年生のときに学年の最優秀賞をとったD組がリードする展開だった。



最優秀賞を受賞した3-Hの演奏



入賞の発表を聞き、歓喜に包まれる客席の3年生。



会場となった千葉県文化会館大ホール。1階が生徒席。2、3階は保護者席に割り当てられた。

打瀬中では2、3学年は同じクラス編成、つまり持ち上がりだ。同じメンバーで歌うので3-D以外のクラスは全員が打倒3-Dを合い言葉に2年越しのリベンジを誓って練習した。

しかしD組の担任は音楽科の木全先生。

しかもD組は中間発表でも最優秀賞をとり、今年もこのままD組が優勝かと思われた。だが、どのクラスも諦めなかった。それは当日の演奏が示している。どのクラスも集中力を切らさず、全クラスが非常に高いレベルで競い合っていた。

取材のため、演奏中に自分たちの順番を待ちながら演奏を聴くクラスの客席を回っていると、「マジでやばいんじゃない。これ」という声。他のクラスの演奏の出来ばえをみて思わず出たのだろう。客席でも張り詰めた雰囲気伝わってきた。

そして発表された結果。最優秀賞は「海の匂い」を歌った3-H。

音魂祭のようなクラス対抗のイベントは規模のある学校でないとできない。たかが音楽イベントということなけれ。クラス対抗で合唱に燃えることは団結心や仲間を思う気持ちを養い。学級という小さな社会を鍛える。

3年生はこれから高校受験まっしぐらだ。音魂祭で培った集中力を発揮してがんばって欲しい。

音魂祭実行委員長 阿部和 (いずみ) さん

今年音魂祭を引っ張る実行委員長は3-Eの阿部和さん。音魂祭まであと1週間という10月20日にお話を伺った。

ピアノとクラシックバレエを幼稚園の時から習っているという音楽好きの阿部さん。部活でもバレーボール部で副部長をつとめ、学年生徒会の役員も積極的に行ってきた。阿部さんが実行委員長に手を挙げたのは音魂祭が毎年楽しい時間だったから深く関わりたいからだった。

全校の実行委員長になるにはまずクラスの代表とならなければならない。3-Eでは代表2人に4人の立候補があり、「じゃんけん」というで選ぶことになった。

ここで阿部さんは運悪く負けてしまう。1年生の時から夢「音魂祭実行委員長」は彼女の手からすべり落ちたかに見えた。ここでドラマがあった。じゃんけんを勝ったクラスメイトが代表の座を彼女に譲ってくれたのだ。阿部さんが日頃から熱心に活動し、実行委員長を望んでいたことを知っていたのだろう。嬉しかった。その後の学年代表は互選ですんなりと選ばれ、中学生最後の音魂祭実行委員長となったそうだ。

「実行委員長は自分のクラスのことでなく全体のことを考えないといけません。でもクラスに帰ったときは大好きな3-Eの優勝のために全力でがんばります」



コア フェスタ

いよいよ11/17(土)より今年のコアフェスタが始まります。今年は新しいサークルも増え、にぎやかなフェスタに。11/17と11/18の2日間、コアはホールもアトリウムも中庭までイベントで埋め尽くされます。出場、出展するサークルの案内と意気込みを聞きました。

ベイトウン・フルートアンサンブル

今回はフランスの古典から現代日本の作曲家の曲まで、趣向の異なる曲を演奏します。

拙い演奏ですが、どうぞ最後までごゆっくりお楽しみください。メンバー随時募集中です！

11月17日(土) 11:00～11:30 コア・ホールに出演予定

ベイトウン音楽愛好会

ファツィオリのピアノ演奏を中心に、バイオリン演奏や歌唱など、素敵なコンサートを皆様にお届け致します。是非聞きにいらしてください！！

また、ご一緒に活動して下さる方！ご連絡を！！

11月17日(土) 13:00～14:40 コア・ホールに出演予定

混声合唱団 瀬音&GAFU

ベイトウンの女声コーラス瀬音と混声コーラスGAFUです。17日は合同で沖縄の美しい旋律の「美ら島のうた」と「大地讃頌」を歌います。どうぞ聴きにいらしてください。

両団共随時入会を募集しています。

問い合わせ：043-213-0309 斎藤

11月17日(土) 15:00～15:30 コア・ホールに出演予定

ベイ・ハーモニー

ベイトウンに新しくできたコースクワイヤーグループの『ベイ・ハーモニー』です。間谷勇先生(優しくてカッコいい!)を中心に日曜午後練習しています。

私たちの大好きなディズニーの曲、ゴンドラの唄、アメイジンググレイス、他、を歌います。メンバー募集中！

11月17日(土) 15:30～16:00 コア・ホールに出演予定

コア・チェンバーシンガーズ

11/17(土) 16:00～ コア・ホールで演奏します。今回のプログラムは、「そのひとが歌うとき」「夢みたものは」、ふるさとの四季から「故郷」「村祭り」「もみじ」です。是非おいでください。メンバーも募集しています。

お問合せ：043-211-6853 松村

11月17日(土) 16:00～16:30 コア・ホールに出演予定

ジュニアコーラス フェアリーズ

「フェアリーズから心に響くハーモニーをお届けします」

愛らしい笑顔いっぱいのリトルクラス、生き生きと躍動感あふれる歌声の小学生クラス、美しく清らかな中高生クラスの歌声、一人一人が精一杯心を合わせて演奏します。今年もアンサンブルコンテスト金賞、全国大会出場。11/24定期演奏会開催します。ご来場お待ちしております。

入団&演奏会のお問い合わせ 272-2136 杉谷・E-mail:jc_fairies@yahoo.co.jp HP:http://jc-fairies.net/

11月17日(土) 16:30～17:30 コア・ホールに出演予定

クラシックギター愛好家団体「千葉ソロギターサークル」

11/18(日)14:00～14:50 コア・ホールで演奏します。内容はギターソロ、2重奏の他、フルートとギターの2重奏も演奏します。フルートはプロ演奏家の川島由利子さんを特別ゲストにお招きしての出演となります。クラシックギターの本格的な響きを是非ご鑑賞下さい

11月18日(日) 14:00～14:50 コア・ホールに出演予定

幕張ベイトウンオーケストラ

今回はモーツァルトの交響曲第40番ト短調、他を演奏します。有名なト短調交響曲はきっとどこかで耳にしたことがあると思います。お楽しみに。

ベイトウンは来年2月に第20回演奏会を開催いたします。団員も随時募集中です。お気軽にお問い合わせください。

11月18日(日) 14:50～15:50 コア・ホールに出演予定

なつめの会

茶の湯を楽しむ会の『なつめの会』です。コアの和室でお茶席します。一席400円です。美味しいお菓子と抹茶をお気軽にお楽しみください。

会員一同お待ちしております。

11/18(日) 10:30～15:30 和室(30分間隔*10席)

アルバム会

はじめて出展します。「アルバム会」です。

17、18日の2日間アトリウムで作品を展示しています。18日には体験コーナーを設けます。

200円でカード作り、500円で8インチ(約20センチ四方)のアルバム1ページを作る体験です。

簡単に作成できますので、写真を2枚ほどご持参の上、お気軽にお立ち寄りください。

11/17、11/18の10:30～16:60 アトリウムにて展示

体験コーナーは11/18(日) 13:00～15:00です。

わくわくおはなし会

大きなスクリーンを使って、コア・フェスタスペシャルプログラムでお届けします。

子供から大人まで、年齢を問わず楽しいおはなしの世界へご案内いたします。

メンバーも随時募集中です。興味のある方は是非！

お問合せ先：井上 (043-211-0188 wak2@yahoogroups.jp)

11/17(土) 10:30～コア工芸室で行います。

「こども将棋大会」めざせチャンピオン

毎年恒例の小学生による将棋大会です。まだ少しですが、出場枠があります。ベイトウンの小学生なら誰でも参加できます。参加料は無料です。

お申し込み：043-211-0918 高田

11/18(日) 13:00～15:30 コア工芸室で行います。

暮らしのマナー講座

千葉市社会福祉協議会打瀬地区部会主催 「子育て世代応援隊」定年後を見据えた生活設計を考える講座です。

- 複雑な年金制度をひとまず整理
- 年金生活の家計管理のツボ
- 生命保険や入院したときの保険はやっぱり必要？

退職前の方はもちろん、年金生活をされている方も大歓迎！

日時：11月25日(日) 13:30～15:00

場所：ベイトウン・コア 講習室

講師：ファイナンシャルプランナー 古川 みほ 氏(暮らしのお金の保健室代表)

NPO法人日本FP協会CFP、NPO法人FPネットワーク神奈川

理事長、大学、行政、企業、マスコミ、FP養成講座等での講師、相談員、執筆多数。

お申し込み・お問い合わせ：古川 久美子 (TEL/FAX043-211-6603) 藤井 克子 (TEL/FAX043-211-2955)

バレンタイン通り 16 番街にある保育園「ベビーステーション幕張」が閉園の危機にあります。認可保育園待機児童や降園後・休園日の幼稚園児受け入れ、短時間の一時預かりなど、柔軟な保育サービスでベイタウンにおいて 10 年以上地域貢献してきました。新たな大規模マンションが建設される中、この千葉市先取りプロジェクト認定優良保育園の存在意義は非常に高いはず。この保育施設及び素晴らしいスタッフはベイタウンの財産です。私たち保護者は育児と仕事に追われる中、署名活動を始めました。どうか協力お願いいたします。

署名用紙 & 投函箱設置協力店: タルブ様(ミラマール)・ヤマハ様(15 番街)・ヤンマー様(5 番街)

問合せ先: savebabystation@yahoo.co.jp

ねりんピックで金メダル 4 番街鎌田さんが快挙

「ねりんピック」ってなに? オリンピックでなく、パラリンピックでもないねりんピックとは?

60 歳以上の高齢者を中心とするスポーツ、文化、健康と福祉の祭典「全国健康福祉祭」。その愛称がねりんピックと呼ばれています。厚生省 50 周年記念事業の一環として、1988 年に兵庫県と神戸市が地元主催者となり第 1 回ひょうご大会が開催され、以後毎年開催されています。

スポーツではテニス、ソフトボール、ペタンク、剣道、グランドゴルフ、水泳、なぎなたなどがあり、文化では囲碁、将棋、俳句などがあります。今年は第 25 回大会で宮城・仙台での開催となりました。

鎌田さんはその水泳競技に千葉市の選手として出場し、念願の金メダルを獲得されたのです。おめでとうございます。

実は鎌田さんはこれまでも第 15 回福島大会でミラマールの加藤庸子さんたちと組んだフリーレーで金メダルを取っているのですが、個人としての金メダルは初めてだそうです。

しかも金メダルは 25m バタフライと 50m 背泳ぎ(ともに 80 歳以上の区分)の 2 種類。素晴らしいことです。本当におめでとうございます。

第 15 回大会ではリレーで金と銅、個人ではバタフライで銅メダルを、第 20 回茨城大会ではバタフライの銀、背泳ぎの銅メダルを取るほどのスイマーだった鎌田さん。ラジオ体操やプール開放、打瀬小での地域ふれあいクラブで日本の古い泳ぎを教えるなど、見ていると体育の専門家かと思いきや、現役の頃は音楽が専門だったと聞いてびっくりです。

ただ残念なのは水泳男子 171 名の中の高齢者 4 名に入れなかつ

11 月のコア・イベント

11 月 17 日(土) わくわくおはなし会 11 月の常設お話

わくわくおはなし会 コアフェスタ スペシャルバージョン
 日時: 11 月 17 日 第 3 土曜日 10:30 から
 場所: ベイタウン・コア工芸室(いつものおへやの向かい側だよ)
 予約不要 途中入場できます。
 今月のわくわくおはなし会は、コアフェスタ特別版!
 え? 何が特別ですか? それは当日のおたのしみ。
 年齢制限はありません。絵本の好きな大人も子どももぜひきてね!
 みんなで わくわくしちゃおう! 読み手も募集中 見学大歓迎!
 ブログ更新中・見てね** <http://waku.makusta.jp/> **
 お問い合わせ先: 井上 (043-211-0188 wak2@yahoogroups.jp)

11 月 24 日(土) 寺子屋工作ランド

日時: 11 月 24 日 第 4 土曜日 9:30 から 11:30
 場所: ベイタウン・コア工芸室
 内容未定です。コア掲示板でお知らせします。
 持ってくるもの: 小刀(あれば)鉛筆、定規、はさみなど工作用具
 参加費: 50 円(保険料)

第 12 回

住宅ローン

無料 個別相談会開催



生涯で大きな支出となる住宅ローンはどこも同じではありません。長期固定返済の場合、1000 万円を超える節約ケースも。これまで海浜幕張エリアで 11 回もの相談会の実績を持つ「ノア・ホーム・コンサルティング(株)」では、専門アドバイザーが多様な住宅ローンを中立公平な立場から評価し、適切にアドバイス。相談会は法人ならではのノウハウと信用、責任に基づき実施するので、約 8 割以上の方が【ローンの見直し・借換えを行い無駄な支出が押さえられました】と大好評です。

相談会は法人ならではのノウハウと信用、責任に基づき実施するので、約 8 割以上の方が【ローンの見直し・借換えを行い無駄な支出が押さえられました】と大好評です。

なんと!

金利 1% 低下で 5 年間短縮! 約 720 万円の節約!

※借入額 3,000 万円、返済期間 32 年、借換え費用差し引き後の場合

参加ご希望の方は必ずご予約下さい

| 千葉市幕張勤労市民プラザ | |
|--------------|-------------|
| 11/23(金、祝) | 13:00~17:00 |
| 11/24(土) | 17:30~21:00 |
| 11/25(日) | 13:00~17:00 |
| 12/1(土) | 17:00~21:00 |
| 12/2(日) | 13:00~21:00 |

幕張勤労市民プラザ 幕張総合高校
 京葉線 海浜幕張駅 幕張ベイタウン

いずれかの条件に当てはまる方 借り換えをお奨めします

- ★現在 1.4% 以上の金利
- ★金利上昇が気になる方
- ★返済期間残 15 年以上
- ★月額返済を減らしたい方
- ★残高 1000 万円以上
- ★段階金利が気になる方

要予約

300 回以上の実績!

ノア・ホーム・コンサルティング(株)

平日の 10 時~20 時受付

☎03(3861)8631

ノア・ホーム・コンサルティング 検索

たことだそうです。何年か後にはぜひ入りたいと早くも次の目標をあげていました。

今もほとんど毎日プールに出かけ悠々自適の泳ぎをされている鎌田さんの健康の秘訣は、「自分に合った内容と方法で、毎日続けるはないか」とのこと。私たちも見習って何かを始めましょうか。ねりんピックの今後の開催地は高知、栃木、山口、長崎の各県と決まっていますが、千葉県は予定はまだのようです。

ベイタウンニュース公式 facebook ページもよろしく

ベイタウンニュース facebook ページは読者が交流できるページです。facebook ページは下記 URL で、どなたでもご覧になれます。
<http://www.facebook.com/BaytownNews/>

千葉ソロギターサークル第 4 回定期演奏会

日時: 2012 年 11 月 25 日(日) 12:30 ~
 会場: ベイタウンコア・音楽ホール
 入場無料
 クラシックギター愛好家団体「千葉ソロギターサークル」一年の総決算となる大イベント。ギターのソロ、重奏の他、フルートやピアノ等との共演をお届けします。是非お越し下さい。

第 110 回ファツィオリの会(コア文化振興基金後援事業)

第 110 回ファツィオリの会
 日時: 11 月 11 日(日) 9:30 ~ 11:30
 場所: ベイタウン・コア音楽ホール
 フルコンサートピアノ「ファツィオリ」の演奏や他の楽器の演奏、声楽や合唱などに使って頂くことが出来ます。非公開でのご利用ご希望のときは、ご相談下さい。定員になり次第締め切らせていただきます。聴きにきて頂くのは、自由です。
 最新の情報は <http://www.baytown.ne.jp/core/> をご覧ください。
 申込締切: 11 月 4 日(日)
 申込先: TEL & FAX 211-0675 (小野寺)

ゴミ空気輸送システムについての続報

先月号で、9月22日、29日に各街区管理組合を集めて開催された、千葉県企業庁主催の説明会についてお知らせした。内容は、企業庁が平成24年度で事業収束するに当たり（3年間の精算期間あり）、現在運用しているゴミ空気輸送システムについて、今のままで赤字であるため、千葉市に移管できない。については、赤字となる運営費部分を住民負担できないか、というものであった。負担額は、あくまでも試算であるが、各戸月950円という目安が示された。この問題について、その後の動きを取材した。【板東】

ある土曜日に、街の人の反応を、街頭インタビューの形で聞いてみた。まず、この件（ゴミ空気輸送システムが移管に当たって問題化していること）を認識しているか、という質問については、先月号で知った、という人を含めて、ほとんどの人が「はい」と答えてくれた。次に、ゴミ空気輸送システムの継続使用にお金がかかることについては、「絶対イヤ。何のために高い地代を払っているのか？地代で充当すべき」「当初の構想がどうなっていて、それがどう変わって今の事態となったのか、検証すべき（記者注：説明会でも、資料とともに当初タウンセンター地区のホテル他事業者含めて1日60トンのゴミを想定していたが、現状はタウンセンター地区の利用はゼロ（すなわち、当てにしていた有料利用料ゼロ）で、循環型社会への意識の切り替わりもあり、1日処理量は10トン程度との説明あり）」「ゴミを捨てるのにお金がかかるというのは好ましくない」「特別なサービスを受けているので、有料化も必要と思う」という意見だった。さらに、通常のゴミ収集車による収集

と、プラスアルファのお金を払ってでも現システムの継続とどちらか一方を選べと言われたら？の質問に対しては、回答者のほとんどが後者（継続）を選び、「便利さは捨てがたい」「美観維持には必要」「金額については検証が必要だが、税金投入は他の地域の住民に不公平」といった声が聞かれた。

一方、このようなタウンマネジメントについて、住民代表の窓口となるべく組織された『幕張ベイタウン協議会』の対応だが、各街区の管理組合に声をかけ（分譲街区30街区中21街区が参加）、どう対応するか検討する会を10月14日に主催している。この検討会では、9月22日、29日の説明会時に参加者から提示され、明確な回答のなかった点も含めて、「企業庁、千葉市、住宅事業者の事業責任はないのか」「地代の運用はどうなっているのか、ゴミ空気輸送システム運営のために使うべきではないのか」「運営費の削減努力は行われているのか」「仮に住民負担するとして、現実的にどういう法律や条例を根拠に、どういう形で負担（集金）するのか」といった根本的な論

点を10項目ほど整理し、協議会が窓口となつて千葉県企業庁および千葉市と交渉を進めていくことが了解された。これを受け、協議会ではさっそく論点を『質問書』の形でまとめて、企業庁へ提出、回答を求める場を設けている（11月6日予定）。今後も、期限も迫っており、予断を許さない状況が続くであろう本問題については、ベイタウンニュースでもフォローして行きたい。

注：先月号記事中で、「企業庁担当課長が協議会の存在や役割を認識していなかった」と報道しましたが、これは誤りで、企業庁・千葉市・事業者・住民代表の議論の中で協議会が発足したので、企業庁は当然その存在・役割を知っていました。ただし、「協議会は企業庁の代弁者とはならない（住民への説明責任は企業庁が負うべき）」とかねてから協議会が主張してきたために、時間切れが迫る中で企業庁側があせって今回の説明会を開催した、というのが真相のようです。



雨の日も濡れずにゴミ捨てができる投入口

ベイタウン 働く女性の仕事4 「ミュージカルダンサー」

今月は長年ディズニー・リゾートのショーにたずさわってきた平さん（ミラリオ在住）にダンサーの仕事についてインタビューした。華やかに見えるダンサーの仕事だがお話を伺うと想像する以上に大変な職業だと思った。しかしそれでも夢を追う若い人々へのエールを聞いた。【金】

神戸出身の平さんは中学3年からモダンバレエを始めた。「身に付いて永く続けられる奥の深い仕事」を求め、日本初のミュージカル俳優養成学校であった宝田芸術学園（当時中野区江古田所在）に入学した。

ここではプロのミュージカル俳優を目指す2年間のレッスンに励む。踊りはバレエからタップ、日舞、さらに声楽から演技とあらゆるジャンルを経験することができ、それがその後の仕事に役立つことになる。

最終年の2年の時に、アメリカのウォルト・ディズニーワールドのオーディションに合格。ダンサーとして3か月間初舞台に立つ。学校卒業後、再度ディズニーワールドのショーに1年間出演し、その後は日本の東京ディズニーランドでエンターテインメントの仕事（ダンサー・振付・演出）に就く。

東京ディズニーランドでは、パレードのダンサーから始まり、ウェスタンショーのカンカンダンサーそしてアメリカ人を含む10人のスペシャルイベントダンサーのメンバーとなる。パーク内は元より国内外でのショーに出演し、日本にいながらアメリカにいるような雰囲気の仕事を楽しんだ。英

語力も飛躍的に伸びた。

ダンサーとして計6年間働いたが、ステージでケガをした時に「振付をしてみないか」という誘いを受ける。これがその後ショーの振付や演出をするきっかけとなった。すべてのショーを少人数の振付師でこなすため忙しい仕事だったが、観客が楽しんでる姿を見ると、やっけてよかったという達成感があったという。

気がつくとも20年間もの間エンターテインメントの仕事をしてきたが、父の看病や家族との時間が取れないので退職。今では全く違う関係の仕事起業しているが、ショーの演出家であるアメリカ人の夫のアシスタントを務めている。

ダンサーの仕事は、当然ながら踊りが好きでないと続けられない。しかし振付師はダンスが上手なだけではできない。広くいろいろなものにトライし経験することが大切で、エンターテインメントの仕事に長く関わっていくためには、すべてをうまくやろうとせず、最低ひとつは自分の得意なものをつくりそれを強みにすることが大切だという。

平さんが最近気になっているのは、ダン

サーを志望しても、やる前からあきらめる子が多い気がする。学校も仕事もいつまでも親元から自立しないことに問題があると思っている。

ミュージカルダンサーに憧れや夢を持っているのであれば、やってみよう！と思ったところで自ら体験し、どういう仕事か自分から調べてみる姿勢が大切だ。平さんの頃に比べると今はダンサーになるための専門学校もあり、より具体的に勉強ができる恵まれた環境だという。

たとえば小さい時からエンターテインメントの仕事を目指すのであれば、劇団の子役だけではなく、歌って踊れるほうが表現力が豊かになる。そしてプロのダンサーをめざすには、クラシックバレエを入り口とし、コンテンポラリーやジャズダンスを勉強してから、ヒップホップ等の順で経験していくのが望ましい。

エンターテインメントの仕事を目指す人は誰でも、いつか自分にふさわしい役と作品に巡り合って、舞台の上で輝き、認められる日が来ると夢見ている。しかしプロのダンサーやミュージカル俳優として生きていくことは難しい。生きて行くどころか、スタートすることが難しいのだそう。そのためには自分の努力によってキラリと光る存在にならなければならない。必要なことは根気強さと自らチャレンジする精神だ。若い人には夢を捨てずにがんばって欲しい。